

LifeKeeper Single Server Protection v8.2 テクニカルアップデートインフォメーション



1. はじめに	3
2. LifeKeeper Single Server Protection の新機能・変更点	3
3. お問い合わせ	4
4. 免責事項	4
4.1. 著作権	4

1. はじめに

LifeKeeper Single Server Protection(以後 SSP) v8.2 は vAppKeeper v7.5 の後継プロダクトとしてリリースされました。本文書は現在 vAppKeeper v7.5 をご利用のお客様が SSP への移行をご検討いただくため、vAppKeeper からの変更点や新機能をまとめたものです。

2. LifeKeeper Single Server Protection の新機能・変更点

- **ベースとなるソフトウェアが LifeKeeper for Linux v7.5 から LifeKeeper for Linux v8.2 となりました。**

それに伴う大きな変更点は以下の通りです。

- ✓ サポート OS や利用できる ARK の保護対象ソフトウェアバージョンは LifeKeeper for Linux v8.2 と同等です。詳細につきましては SSP のリリースノートをご確認ください。
 - ✓ ログ出力の仕組みが LifeKeeper 独自のものから OS 標準の syslog 経由でのログ出力となりました。
 - ✓ 32bit OS がサポート対象外となり、64bit OS 上でのみご利用いただくことができます。
 - ✓ ライセンスが Node locked ライセンスから Non-node locked ライセンスとなります。そのため HostID 変更時のライセンス再取得が不要となりました。
- **仮想環境だけではなく物理環境もサポートします**
Single Server Protection は HA クラスターを構成せず、1 ノードで保護対象リソースの監視とリカバリーを行います。その動作環境として従来の VMware 社の仮想環境のみのサポートから物理環境でのリカバリーをサポートします。
 - サポートする仮想環境は VMware 社の仮想環境のみではなく、Linux KVM や Amazon EC2 の仮想環境をサポートするようになりました。
※SteelEye Management Console については従来通り VMware 社の製品のみをサポートします。

3. お問い合わせ

本ドキュメントの記載内容について、疑問点等がある場合は弊社サポート窓口までお問い合わせください。お問い合わせの一次窓口が弊社ではない場合があります。サポート証書にてサポート窓口を確認のうえ、適切なお問い合わせ窓口にお問い合わせください。

<http://www.sios.com/products/bcp/lkdk/contact/>

4. 免責事項

- 本書に記載された情報は予告なしに変更、削除される場合があります。最新のものをご確認ください。
- 本書に記載された情報は、全て慎重に作成され、記載されていますが、本書をもって、その妥当性や正確性についていかなる種類の保証もするものではありません。
- 本書に含まれた誤りに起因して、本書の利用者に生じた損害については、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。
- 第三者による本書の記載事項の変更、削除、ホームページ及び本書等に対する不正なアクセス、その他第三者の行為により本書の利用者に応じた一切の損害について、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。
- システム障害などの原因によりメールフォームからのお問い合わせが届かず、または延着する場合がありますので、あらかじめご了承ください。お問い合わせの不着及び延着に関し、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。

4.1. 著作権

本書に記載されているコンテンツ(情報・資料・画像等種類を問わず)に関する知的財産権は、サイオステクノロジー株式会社に帰属します。その全部、一部を問わず、サイオステクノロジー株式会社の許可なく本書を複製、転用、引用、公衆への送信、販売、翻案その他の二次利用をすることはいずれも禁止されます。またコンテンツの改変、削除についても一切認められません。本書では、製品名、ロゴなど、他社が保有する商標もしくは登録商標を使用しています。